

気候非常事態を宣言

只見中 持続可能社会へ実践

只見中は二十三日、持続可能な社会の実現に向けて新聞紙レジ袋の活用などを推進することなどを盛り込んだ「只見中気候非常事態宣言」を出した。

同校の文化祭「紅葉祭」の中で、第十四代生徒会長の酒井駿さん（三年）と初代SDGS委員会委員長の鈴木音緒さん（三年）、第十五代生徒会長の増田司さん（二年）が宣言を読み上げた。



宣言では、二〇二二に新潟・福島豪雨が只見町を襲ったことなど（平成二十三年七月）

に触れた上で、世界中で異常気象とされる現象が相次いでいることを紹介した。ユネスコエコパークの只見町にある中学校として持続可能な発展を学び、実践すると誓っている。

今後、同校では生徒会が中心となって気候変動を最小限に抑えるための4R活動推進のほか、新聞紙レジ袋の活用、ペットボトル飲料を毎週月曜日に利用しない「ペット・フリー・マンデー」の実施などに取り組む。

気候非常事態宣言をする酒井さん（右）ら

福島民報

R3.10.27